

次期弘前大学医学部附属病院長の決定について

国立大学法人弘前大学病院長の選考及び任期等に関する規程（平成26年5月16日規程第56号）に基づき次期医学部附属病院長を決定したので、同規程第4条5項の規定により、その選考結果、選考過程及び選考理由を下記のとおり公表する。

令和5年2月16日

国立大学法人弘前大学長 福田 眞 作

弘前大学医学部附属病院長候補者選考会議
議長 若 林 孝 一

記

1 次期医学部附属病院長（選考結果）

氏 名： はかまだ けんいち
袴 田 健 一

任 期： 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

2 選考過程

令和 4年12月 8日 医学部附属病院長選考基準を公表

12月19日 医学部附属病院長候補者選考会議を設置

12月20日 第1回選考会議を開催

- ・医学部附属病院長候補者選考会議に関する申合せを制定
- ・医学部附属病院及び選考会議委員に対して次期病院長候補者となるべき適任者（原則複数名）の推薦を依頼

令和 5年 1月20日 医学部附属病院から次期病院長候補適任者1名の推薦有り
また、選考会議委員からの推薦は無し

1月25日 第2回選考会議を開催

- ・次期病院長候補適任者について書類審査を実施

2月 9日 第3回選考会議を開催

- ・次期病院長候補適任者について面接審査を実施
- ・その後審議を行い、次期病院長候補者1名の推薦を決定

2月15日 選考会議が袴田健一氏を次期病院長候補者として学長に推薦

2月16日 学長が次期医学部附属病院長を決定

3 選考理由

次期弘前大学医学部附属病院長の選考にあたっては、学外の有識者を含む弘前大学医学部附属病院長候補者選考会議において、医学部附属病院長選考基準に定める「病院長に求められる資質・能力」に照らして書面審査及び面接審査が行われ、その結果、同会議から学長に次期医学部附属病院長候補者として袴田健一氏が推薦された。

同氏は人格が高潔であり、以下のとおり病院長に求められる資質・能力の要件を満たし、かつ、大学の中期目標における「附属病院に関する目標」について継続的かつ確実に推進する姿勢と指導力を有している人物と判断され、学長が同氏を次期医学部附属病院長として決定した。

・医療安全の確保について

令和2年4月から医学部附属病院医療安全管理責任者及び医療安全管理委員会委員長を3年間務めており、今後もその経験を活かし本院が有する医療安全の第一層の醸成を図っていく姿勢を示している。このことから、患者安全を第一に考えた医療安全管理体制について積極的に統括していく資質を有していると判断される。

・病院の管理運営について

令和2年4月から現病院長のもとで3年間、経営・医療安全担当の副病院長として診療機能の整備、医療安全対策、新型コロナウイルス感染症対応等の様々な病院運営に取り組んできた。今後はこれまで培った経営改善のノウハウを活かし、中長期視点に立った財務運営の安定化を図るとともに、DXの推進によるスマートホスピタルの実現などを目指す姿勢を示している。このことから、将来に関する明確なビジョンを持って医療情勢の変化に対応しつつ、安定的な収益確保や病院職員の労働環境の改善に強い意欲を持って継続的にマネジメント力を発揮できる人物であると判断される。

・教育・研究・診療について

シームレスな卒前卒後教育の推進、高度医療技術の研究開発機能の強化、最新技術を活用した遠隔医療システムの開発と導入など、教育・研究・診療のいずれの面においても、関係諸機関と連携して、本院及び地域医療の発展を推進する姿勢と指導力を有していると判断される。